

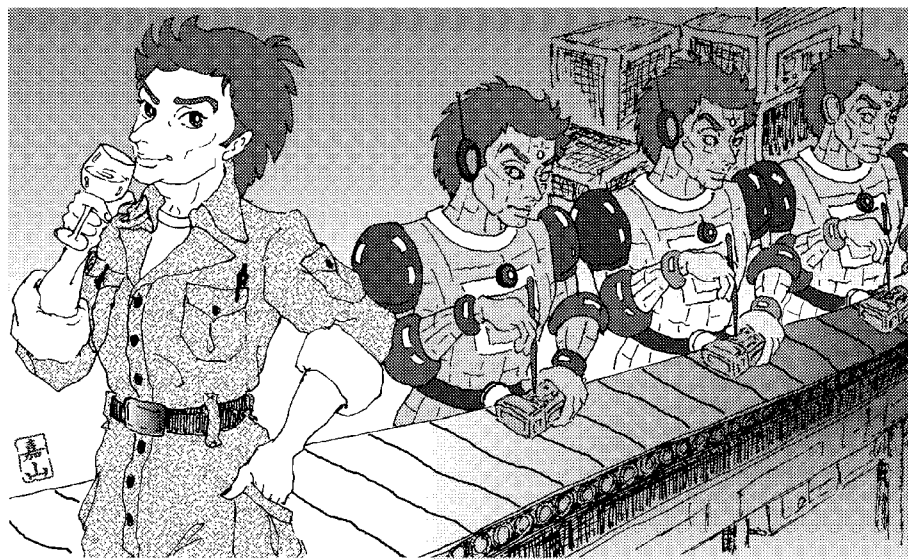
ロボット一族の展開

代用奴隷から 超人間への期待

本家ロボットの名は、カレル・チャペックの戯曲「ロサム・ロボット製造会社」(1921年初演)による。チエコ語の強制労働を意味する「ロボット」、スロバキア語の労働者「ロボトニク」からとされ、名付け親は兄の画家ヨゼフとも、ゾンビ伝説からか、フランケンシュタイン型の人造労働者で、労働をサボって墮落・退化した人間に反乱して世界を征服する、日本では早くも21年(大正10)に嵯峨長人が新作落語「人間製造会社」で、23年に鈴木

善太郎は「カッパ」の戯曲労働者製造会社で紹介。24年に手賀伊津緒は訳本「人造人間」を刊行し築地小劇場で上演。かくして日本人造人間ブームが起り、28年の御大札記念京都博覧会では西村真琴が空気を動かす「学天則」を展示。50年には、アシモフはロボットを機械的に改め「われはロボット」を刊行し、いわゆる三原則を守る有能な労働ロボットに成長させる。

工業界では、1956年に米G・C・デボルが自動的に部品を搬送する機械の特許を申請。60年に米金属市場新聞は、この機械を産業用ロボットと呼んだ。後、バーサランとユニメイトの名で商品化。足まわり



115

テクノ・コメンテーター

も進歩し、からくり人形の血を引く癒やし系ロボットも登場。アンドロイドは1886年のSF小説「未来のイブ」に登場した女性機械人間。本来は女性もどきのガイノイドと呼ぶべきもので、アンドロイドは男性もどき。人間もどきのヒューマノイドはSFでは異星人が人間に取りついた怪物のイメージであったが、加藤一郎早稲田大学教授が1973年開発の人型ロボット「WABOT-1」にこの言葉を用いた。大阪大学の石黒浩教授は自分のソックリさんを作りジェミニノイド(双子のアンドロイド)と命名して公開(2006年)。パイオロイドはパイオテクノロジーによる有機

新種や亜種が
リアル世界で次々と

テクノ・コメンテーター

工学博士

岩田 倫典

(企画制作) 日刊工業新聞社事務局

夢物語を実現する技術者のロマン

械で汎用性があるもの」と言い、日本工業規格(JIS)用語の知能ロボットは「人や動物の持つ知能機能の全部または一部を備えているもの」。一族の繁栄は目まぐるしく、ロボットの冠に分家筋?の名を付けたものの、外科 介護 警備 地雷駆除 はては軍事用ロボットなど用途を冠したものが次々と生まれ、特に3K職場では超人的な活躍。さらには、先祖返りしたソフトなパイオロイドや血管内を走るマイクロロボットの開発中。

「IDリンク・マネージャー勤怠連携版」導入で、勤務時間外のパソコン利用を制限し、時間管理意識の向上を実現。

大丸松坂屋百貨店への「IDリンク・マネージャー勤怠連携版」導入で、勤務時間外のパソコン利用を制限し、時間管理意識の向上を実現。

厳選。

大丸松坂屋百貨店への

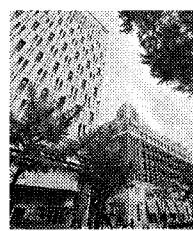
「IDリンク・マネージャー勤怠連携版」導入で、

勤務時間外のパソコン利用を制限し、

時間管理意識の向上を実現。

富士通エフサス 導入事例

058 株式会社大丸松坂屋百貨店

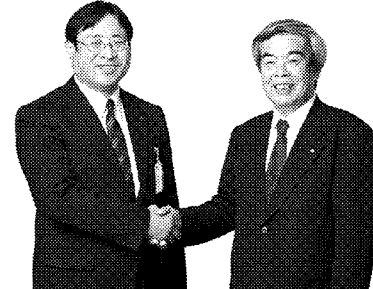


大丸心斎橋店

大丸松坂屋百貨店が「厳選」した業務の効率化。支えたのは、富士通エフサスでした。競争が激化する流通業界、適切な就業管理など、コンプライアンスの遵守が一層求められます。そこで「IDリンク・マネージャー勤怠連携版」を導入。全国に広がる各店舗従業員の勤務時間外のパソコン利用を制限し、時間管理意識の向上を実現しました。富士通エフサスは、お客様のニーズにきめ細かくお応えする、最適なソリューションを提供します。

「IDリンク・マネージャー勤怠連携版」の導入で、適切な就業管理をしましょう。

株式会社富士通エフサス
西日本本部 関西サポート統括部
第二カストマーサービス部
営業店舗サービス課長
芝 同 開



コンプライアンスが強化されるとともに、業務の効率化が実現しました。

株式会社大丸松坂屋百貨店
執行役員 業務本部
システム企画部長
阪下 正敏氏



日経コンピュータ 2010年8月18日号
第15回顧客満足度調査
ITコンサルティング・IT設計関連サービス
(情報サービス会社) 部門1位

http://jp.fujitsu.com/fsas/

〒211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸子13-2 野村不動産武蔵小杉ビルN棟

0120-860-242

e-mail:fsas-service@cs.jp.fujitsu.com

※記載されている会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。

株式会社富士通エフサス

shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために